



### おめでとうございます(敬称略)

- 春の褒章
  - 【藍綬褒章】 ▶経営革新功績 中野琢雄(ゆりのき台)
- 春の叙勲
  - 【旭日双光章】 ▶保健衛生功労 黒田光煌(勝田台)
  - 【瑞宝小綬章】 ▶労働行政事務功労 福井徹也(勝田台北)
  - 【瑞宝双光章】 ▶経済産業行政事務功労 小林實(緑が丘)、佐藤賢司(高津) ▶教育功労 三神光磨(八千代台北)
  - 【瑞宝単光章】 ▶郵政業務功労 上田可夫(大和田新田)
- 危険業務従事者叙勲
  - 【瑞宝双光章】 ▶防衛功労 仁井元修(八千代台東)、吉田尚義(高津)
  - 【瑞宝単光章】 ▶警察功労 秋本光男(八千代台東)、長谷川徹(上高野)

### ボルピィ牧場がリニューアル 創立30周年を迎えた萱田小学校



動物たちの餌は、子どもたちの家から出た野菜の切れ端などをあげます

創立30周年を迎えた萱田小学校。創立当初から変わらぬ姿で引き継がれている「ボルピィ牧場」では、ポニーや羊などを飼育しており、5・6年生の飼育委員会と地域のボランティア「萱小FC」の皆さんが一緒にお世話をしています。

昨年度、新型コロナウイルスの影響で、行事が少なくなってしまう6年生の思い出づくりにと、老朽化した牧場のリニューアルを萱小FCが企画。看板や柵の入れ替えなどを行い、3月に完成しました。

動物とのふれあいを通じて、子どもたちは「命の尊さや大切さ」を学んでいきます。

地域のみんなから愛される動物たちは、これからも子どもたちの成長を見守っていきます。

### ありがとうございました(敬称略)

- 1月に市と第一生命保険株式会社との間で締結した包括連携協定に基づき、同社から一眼レフカメラ一式を寄附していただきました。
- 「新入学児童の事故防止や防犯に役立ててください」と次の物品をそれぞれ約1,800人分寄贈いただきました。
- ▶黄色いワッペン (株)みずほフィナンシャルグループ、損害保険ジャパン(株)、明治安田生命保険相互会社、第一生命保険(株)から、黄色いワッペンが新入学児童数分寄贈され

- ました。これは、新入学児童の交通安全を願って、昭和40年にスタートし、今年で57年目を迎える事業です。ワッペンには、4年3月まで有効の交通事故傷害保険が付けられています。
- ▶交通安全下敷き (公財)千葉県交通安全協会
- ▶ランドセルカバー 八千代交通安全協会
- ▶防犯笛 日本マクドナルド(株)
- ▶サイクルリフレクター コスモス交通安全協力会、(株)千葉興業銀行

### 八千代台フォトコンテストを初開催します

八千代台地域の風景や日常的なまちの様子を写した写真を募集。オンライン投票と審査の結果、入賞作品は卓上カレンダーなどのオリジナル商品となって、地域振興に役立てられます。賞状及び副賞の進呈も。参加無料。

- ▶募集期間 6月1日(火)~6月30日(水) ▶応募方法 〒276-0031八千代台北1-10-13八千代台まちづくり合同会社へ郵送か同コンテスト特設サイトから。右下のコードからも見られます
- ▶応募資格 だれでも参加可能(アマチュアのみ)。一人1作品 ▶問い合わせ 同合同会社 ☎401-6419へ電話か特設サイトをご覧ください(都市計画課まちづくり推進室)



### トライを目指して、フィールドを駆け回れ

#### 総合グラウンドでラグビーフェスティバルを開催

4月11日、総合グラウンドで市ラグビー協会主催のラグビーフェスティバルが開催され、八千代RFCに所属する幼児~小学生や当日参加した体験参加者はトップイーストリーグで活躍するBIGBLUESのから指導を受けました。

八千代松陰高校は千葉北高等学校、川越東高等学校と招待試合を実施。試合では、見事に相手をかかわしながらトライを決めるなど、熱いプレーもたくさん見られました。



▲感染症対策で小学生はタックル禁止でした

### 市民伝言板

●第1回フォトU同好会写真展 昨年3月急逝された写真家植村正春氏に指導を受けた仲間達がこの一年の活動から持ち寄った作品の写真展。ご自由に観覧いただけます。6月3日(木)~6日(日)10時~17時(初日は正午から、

最終日は16時まで)、勝田台文化センター。フォトU同好会・横山 ☎090-4368-0674

●ワイワイみんなの音楽会 ハーモニカアンサンブル(海外で優勝した9人)の演奏を聴きましょう。皆さんで季節の曲や唱歌を手話付きで聴くコーナーもあります。入場無料。6月6日(日)14時~16時10分、八千代台文化センター。ワイワイ音絵体クラブ・加藤 ☎482-5228

### 八千代歌壇

鶴岡 美代子選

伽羅木の上に一輪落ち椿白き花びら錆はじめたり (八千代台南) 一戸 光代

マスクする眼差しどこか悲しげに三越前のライオン像は (八千代台東) 藤井 京子

外出の禁止されいらぬのに天気予報のやはり気になる (大和田) 紺野 正勝

こぼれ種より芽生えたる諸葛菜日毎伸び来る花浄土来よ (八千代台西) 藤野 宏子

新川の千本桜は見守られコロナに負けぬ春のさきがけ (八千代台北) 石川 静子

春近しコロナの行方案じつつ明日の献立考えている (下市場) 村越喜美子

もやもやとマスク暮しがまだ続く仰げば昼の上白む月 (大和田新田) 諏訪 俊一

忘れまじ友のまごころとしなえ年経ることに我が身を支 (ゆりのき台) 松田 恵子

選評 一首目、常緑の伽羅と白椿の、清らかで美しい取合せがなぜか寂しく、錆び色でさらに寂しさが倍加した。二首目、マスクするライオン像を捉えたことがまず成功のもと。悲しそうな眼には、コロナ禍の世情や作者の思いが重ねられている。三首目、コロナ感染防止のために不要不急の外出は控えるようにとされていることを踏まえての作品で、同じ思いの人は多いだろう。ため息とともにユーモアが感じられる。

■新しい選者に鶴岡美代子さん 5月15日号から「八千代歌壇」の選者が替わり、ました。新選者となった鶴岡美代子さんの歌歴、歌集は次のとおりです。



【歌歴】▼昭和61年土屋正夫に師事、「軽雪」(入会令和2年同誌終刊までを担う)▼同年同好会誌「洗」を創刊、現在「洗」発行人。他方令和3年「国民文学」に入会第一同人。【歌集】▼「蓮」(宇宙方程式「緑風抱卵」日付変更線「斜度」等)▼「歌書」(書齋の会話「歌人土屋正夫」)、「道はひとつ」土屋正夫の歌

### やちよ川柳

八千代川柳連盟選

厭な事洗い流せる年の功 村上団地 山田 純子  
 ジェンダーで輝き失せた夢五輪 勝田台北 川井よし雪  
 説教の数を指折る反抗期 勝田台 福島 つぐ  
 ぼちぼちの趣味が底無し沼となる 八千代台東 平蔵 終  
 冷蔵庫内いさめに老い仕度 八千代台北 中村 たえ  
 しあわせは人の笑顔に出合うこと 村上 島村 呆眼  
 手が焼ける子供の親は叩き上げ 村上 藤原 敏弘  
 脱炭素秒進分歩乗り遅れ 緑が丘 鈴木 照子  
 巣籠りに酒瓶並ぶゴミ置き場 萱田町 渡邊 昭二  
 気が緩みマスクも緩みリバウンド 緑が丘 勝田 賢